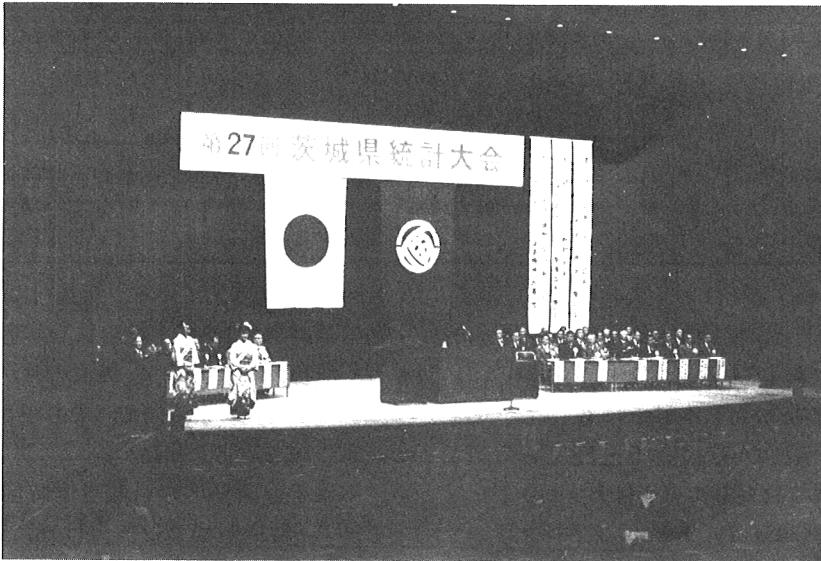


豊かさ と心をつなぐ統計の祭典

第27回茨城県統計大会



去る1月28日、昭和60年度の茨城県統計大会が、県民文化センターで開催されました。この大会は昭和34年に開催されて以来毎年実施されているもので、今回で27回目を数えます。

特に今年度は、国家的な大規模調査である国勢調査等が実施された年に当たりました。したがって、統計に対する新たな課題が次々と投げかけられ、統計関係者の一層強い喚起を促されるなど非常に重要な年でありました。

このような意味において、統計関係者一同が県都に結集し、大会宣言の二大目標である「新時代の要請に適應する地域統計の充実」と「よりよい統計調査環境の充実」を目指すことを誓い確認し合ったことは、大変意義のある大会であったと思います。

大会は、まず柴崎県統計課長の開会のことばで幕が開き、竹内副知事のあいさつに続き表彰式が

行われました。今回は、茨城県知事表彰、茨城県統計協会総裁表彰等統計功労者のほか、茨城県統計グラフコンクール入選者表彰等約470名が受賞され、その榮譽に浴されました。

いっぽう、式典に花を添えたのが、式典介添として登場した梅むすめであり、式典のフィナーレにふさわしく、見事な吟を披露した高世幸明氏のアトラクションでありました。

このように、多くの方々の援助と協力、各界からの祝福と激励、そして参加者の熱意で培われた大会であり、また、統計とは何かを再び呼び起こされた大会でもありました。

“統計は 明日の国づくりをすすめる
道じるべのようなもの
そして統計は 多くの人と人の心をつなぐ
かけはしのようなものである …… と、

(統計課・統計指導グループ)



▲受付



▲竹内副知事あいさつ

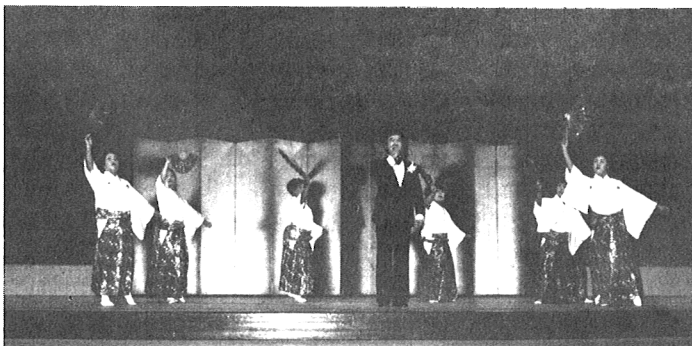
▼表彰式



▶決意表明
阿見町
砂山調査員



◀受賞の喜び
鹿島町立鹿島小
武藤由香里ちゃん



▲アトラクション 高世幸明氏



▲大会宣言
神栖町 城之内企画課長